

もの言う牧師のエッセー 第195話 「ホームレス少年が蛍雪の功」

この夏、フィリピンの路上で宿題をしていた少年のニュースが爽やかな風のように駆け抜けた。将来は警察官になるのが夢という小学3年生のダニエル君は火事で家を失い、それ以来、彼の母親で未亡人のクリスティーナさんが働くレストランで寝泊りしていた。彼女の一日の稼ぎはたったの1ドル77セント。しかも彼女には病気の兄弟もいて、生活は非常に苦しく、ダニエル君は殆ど学校に通えない。

しかしある日、女子学生のジョイスさんが、たまたまマクドナルドの駐車場の暗がりで一糸懸念に勉強している彼の姿に目が留まり、「私は少年に奮い立たせられました / I got inspired by a kid」とフェイスブックに投稿したところ、たちまち7000件ものシェアとなり、SNSやローカルニュース、地元の名士や福祉事務所などへ拡散。多くの人々が手を差し伸べ、地元警察は物資や資金を援助、さらに地元政治家によりダニエル君は奨学金を手にしたうえ、クリスティーナさんが自身で商売が出来るようにサポートしてくれるスポンサーまで現れた。「たった一枚の写真で！」と投稿者のジョイスさんもビックリ。

「あなたがたは、全てのことに、すなわち、信仰にも、言葉にも、知識にも、あらゆる熱心にも、私たちから出てあなたがたの間にある愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富むようになってください。」2コリント人への手紙8章7節、

とある聖書の言葉の中の「私から出て。。」の部分、新米国標準訳では「私たちがあなた方を奮い立たせた / We inspired in you」となっている。要するにコリントの人々やジョイスさん、ダニエル君らは“インスピレーション”（inspireの派生語）を受けたので良い業の完成を見たのだ。教会に1万回通ったり、聖書を1万回読んだりしても、もし我らが“イエスから出る”インスピレーション、つまり聖霊を受けなければ、単なる無力な宗教信者でしかない。ゴスペルとは、お題目ではなく、キリストの霊による力なのである。それによって我らも奮い立つ。

2015-8-14

